



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 ワタベウェディング株式会社  
コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 花房 伸晃  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平木 親臣

TEL 075-352-4111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	20,577	△8.9	△1,452	—	△1,414	—	△1,094	—
26年3月期第2四半期	22,575	△3.0	△1,463	—	△1,548	—	△1,168	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △1,027百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △769百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△110.48	—
26年3月期第2四半期	△117.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	21,775	10,897	49.8
26年3月期	23,739	11,989	50.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 10,852百万円 26年3月期 11,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	0.00	15.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 平成27年3月期の期末配当予想額は未定としております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,600	△4.4	100	—	130	—	△100	—	△10.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年10月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	9,909,400 株	26年3月期	9,909,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	326 株	26年3月期	326 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	9,909,074 株	26年3月期2Q	9,909,074 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成26年11月14日に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、「リゾート挙式」におきましては、店舗網の再編を中心に商圏の拡大と集客力の強化に取り組んでまいりました。全国の多くのおお客様にご利用頂ける店舗網を目指し、平成26年5月には「立川店」、6月には「高崎店」、「熊本店」をオープンし、地方都市の基盤構築に努めました。また、競争の激しい都心部では、よりお客様が足を運びやすい場所への出店を意図し、名古屋地区に「栄サロン」、東京地区に「池袋サロン」をオープンいたしました。既存店舗に関しましても、立地条件や家賃効率を徹底的に見直し、東名阪の大都市部を中心に5店舗のリニューアルを実施いたしました。これらの取り組みの結果、店舗における集客は堅調に推移しております。リゾート挙式全体といたしましては、前年度の台湾における挙式施設閉鎖の影響を受け、売上高は減少したものの、家賃効率や人員効率の改善による販売管理費の抑制を行い、営業損失は前年同四半期比で大幅に改善いたしました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、目黒雅叙園のメインダイニングである「旬遊紀」をリニューアルオープンし、レストラン・宴会利用顧客の受注に寄与いたしました。しかしながら、消費税増税後の消費意欲減退に伴う市場の鈍化に加え、競合他社の新規施設オープンの影響を受け、挙式取扱組数は減少いたしました。

以上の結果、当社グループの業績は、売上高20,577百万円（前年同四半期比8.9%減）、営業損失1,452百万円（前年同四半期営業損失1,463百万円）、経常損失1,414百万円（同 経常損失1,548百万円）、四半期純損失1,094百万円（同 四半期純損失1,168百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

#### ① リゾート挙式

売上高は8,621百万円（前年同四半期比5.7%減）となりましたが、販売管理費の削減等に努めた結果、セグメント損失は502百万円（前年同四半期セグメント損失1,130百万円）となりました。

#### ② ホテル・国内挙式

挙式取扱組数が減少し、売上高は11,955百万円（前年同四半期比11.0%減）、セグメント損失は964百万円（前年同四半期セグメント損失326百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,157百万円減少し、8,348百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ193百万円増加し、13,426百万円となりました。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ1,964百万円減少し、21,775百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ822百万円減少し、7,986百万円となりました。これは主に買掛金、資産除去債務の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ49百万円減少し、2,890百万円となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ872百万円減少し、10,877百万円となりました。

純資産残高は前連結会計年度末に比べ1,092百万円減少し、10,897百万円となりました。これは四半期純損失1,094百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、消費税増税による消費意欲の減退に伴う市場の鈍化と都心エリアの競合他社施設オープンの影響を受けたことによる国内挙式取扱組数の減少等により、当初予想を大幅に下回る見通しであることから通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成26年10月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が64百万円増加し、利益剰余金が64百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響は軽微です。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,267	4,034
売掛金	1,785	1,600
商品及び製品	230	242
仕掛品	20	22
原材料及び貯蔵品	608	506
その他	1,636	1,983
貸倒引当金	△42	△41
流動資産合計	10,505	8,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,335	4,449
土地	2,271	2,271
その他(純額)	1,384	1,474
有形固定資産合計	7,992	8,195
無形固定資産	854	734
投資その他の資産		
差入保証金	2,980	2,995
その他	1,436	1,532
貸倒引当金	△30	△31
投資その他の資産合計	4,386	4,496
固定資産合計	13,233	13,426
資産合計	23,739	21,775
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,813	1,416
短期借入金	1,325	1,425
未払法人税等	184	-
前受金	2,322	2,764
賞与引当金	487	319
資産除去債務	437	213
その他	2,237	1,848
流動負債合計	8,809	7,986
固定負債		
長期借入金	1,075	812
退職給付に係る負債	913	1,037
資産除去債務	442	542
その他	510	499
固定負債合計	2,940	2,890
負債合計	11,750	10,877

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	4,344	3,184
自己株式	△0	△0
株主資本合計	12,558	11,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	63
繰延ヘッジ損益	9	69
土地再評価差額金	△921	△921
為替換算調整勘定	416	380
退職給付に係る調整累計額	△147	△139
その他の包括利益累計額合計	△606	△546
少数株主持分	37	44
純資産合計	11,989	10,897
負債純資産合計	23,739	21,775

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	22,575	20,577
売上原価	7,892	7,308
売上総利益	14,683	13,268
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	5,215	4,940
賞与引当金繰入額	279	201
退職給付費用	99	111
賃借料	3,164	2,751
その他	7,388	6,714
販売費及び一般管理費合計	16,146	14,720
営業損失(△)	△1,463	△1,452
営業外収益		
受取賃貸料	29	30
為替差益	—	17
その他	39	30
営業外収益合計	69	78
営業外費用		
支払利息	7	7
開業費	90	—
その他	56	33
営業外費用合計	154	40
経常損失(△)	△1,548	△1,414
特別損失		
固定資産除売却損	39	23
施設店舗整理損	46	38
特別損失合計	85	61
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,633	△1,476
法人税等	△456	△386
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,177	△1,089
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△8	5
四半期純損失(△)	△1,168	△1,094

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,177	△1,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	28
繰延ヘッジ損益	3	59
為替換算調整勘定	405	△35
退職給付に係る調整額	—	8
持分法適用会社に対する持分相当額	1	1
その他の包括利益合計	407	62
四半期包括利益	△769	△1,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△767	△1,034
少数株主に係る四半期包括利益	△1	7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,633	△1,476
減価償却費	875	809
施設店舗整理損	46	38
賞与引当金の増減額(△は減少)	△98	△168
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	70
受取利息及び受取配当金	△11	△3
支払利息	7	7
為替差損益(△は益)	11	15
売上債権の増減額(△は増加)	157	191
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67	70
仕入債務の増減額(△は減少)	△309	△410
未払金の増減額(△は減少)	△957	△240
前受金の増減額(△は減少)	527	424
その他	△135	40
小計	△1,588	△632
利息及び配当金の受取額	14	3
利息の支払額	△7	△7
法人税等の支払額	△200	△241
法人税等の還付額	157	48
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,625	△829
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△688	△876
有形固定資産の売却による収入	97	3
無形固定資産の取得による支出	△200	△157
投資有価証券の売却による収入	—	1
差入保証金の差入による支出	△43	△145
差入保証金の回収による収入	349	90
その他	15	△133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△470	△1,217
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	700	△100
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△250	△62
配当金の支払額	△148	—
その他	△30	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	770	△187
現金及び現金同等物に係る換算差額	215	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,109	△2,233
現金及び現金同等物の期首残高	6,403	6,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,294	4,030

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	9,142	13,433	22,575	—	22,575
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,880	72	2,953	(2,953)	—
計	12,023	13,505	25,529	(2,953)	22,575
セグメント損失(△)	△1,130	△326	△1,457	(5)	△1,463

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去17百万円、棚卸資産等の調整額△23百万円が含まれております。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	8,621	11,955	20,577	—	20,577
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,802	55	2,857	(2,857)	—
計	11,423	12,011	23,435	(2,857)	20,577
セグメント損失(△)	△502	△964	△1,466	14	△1,452

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額14百万円には、セグメント間取引消去23百万円、棚卸資産等の調整額△9百万円が含まれております。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。